（１）県全体の農作物の被害状況について

むらづくり課

- 令和7年度の野生鳥獣による農作物被害額は、**5億6,255万円**で前年度より**約1億2,000万円減少**（前年度比－18%）している。（図1、表1）
- 前年度と比べ、**シカによる被害額が約3,800万円増加**し、**ヒヨドリ、イノシシ、カモで約1億5,900万円減少**している。（図1、表1）
- 鳥獣種別の被害額は、イノシシが全体の約55%、次いでシカが約19%、カラスが約7%を占めている。（図2）
- 作物別では、野菜の被害額が全体の約37%、米が約26%、果樹が約23%となっており、前年度と比べ、**果樹、米の被害額が大幅に減少する一方、野菜、いも類などが増加している**。（図3）
- 令和8年度から国の公表が都道府県別から市町村別に変更されるのに合わせ、本県も**市町村別に被害状況を公表する。**

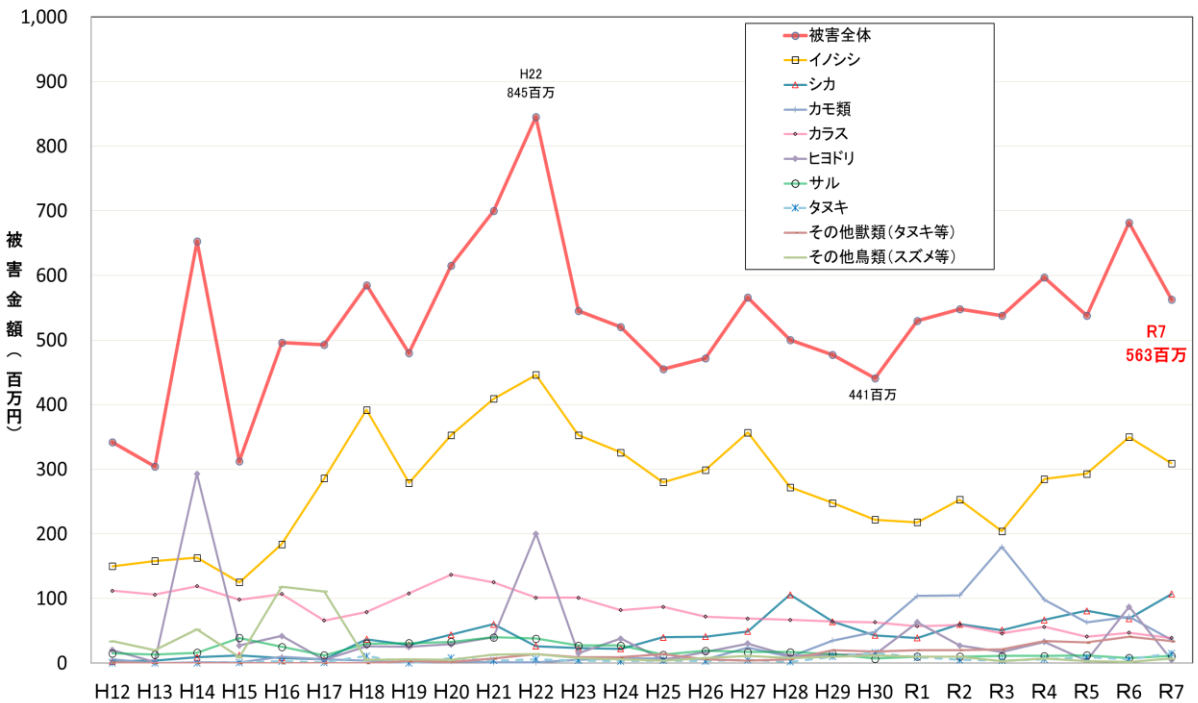

図１　被害額の推移

表１　令和7年度被害額

青文字：減少、赤文字：増加

項目	被害額	対前年度比	前年度からの増減額
全体	5億6,255万円	82%	約12千万円減少
イノシシ	3億912万円	88%	約4千万円減少
シカ	1億699万円	154%	約3千8百万円増加
カラス	3,938万円	85%	約7.2百万円減少
カモ	3,559万円	50%	約3千6百万円減少
タヌキ	1,480万円	236%	約8.5百万円増加
サル	1,114万円	143%	約3.3百万円増加
ヒヨドリ	501万円	6%	約8千2百万円減少
その他獣類（アナグマ等）	3,359万円	82%	約7.6百万円減少
その他鳥類（バン等）	693万円	287%	約4.5百万円増加

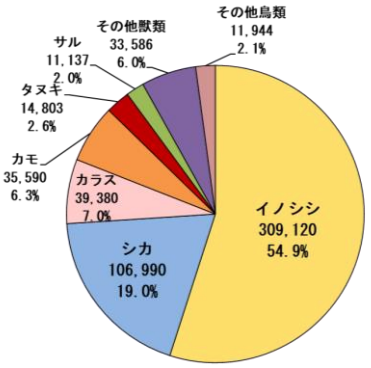

図２　鳥獣種別被害額（千円）

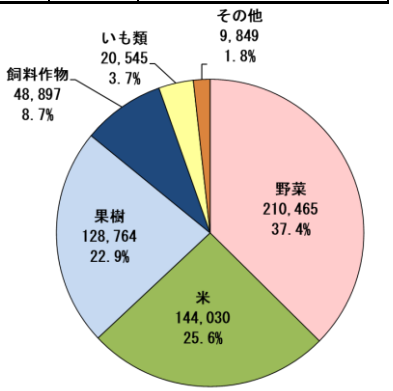

図３　作物別被害額（千円）

（２）地域別の被害状況について

むらづくり課

- 地域別では、**八代地域の被害額が県全体の約22%**を占め、**宇城地域が約13%、玉名、阿蘇地域が約12%、菊池地域が約10%**を占めている。
- 被害額は前年度と比較して、**上益城、阿蘇、八代地域**以外の**8地域で減少**した。
- 多くの地域では**ヒヨドリ、イノシシ**の被害額は**減少**した。一方、**阿蘇、八代地域**でシカの被害額が**大きく増加**した。

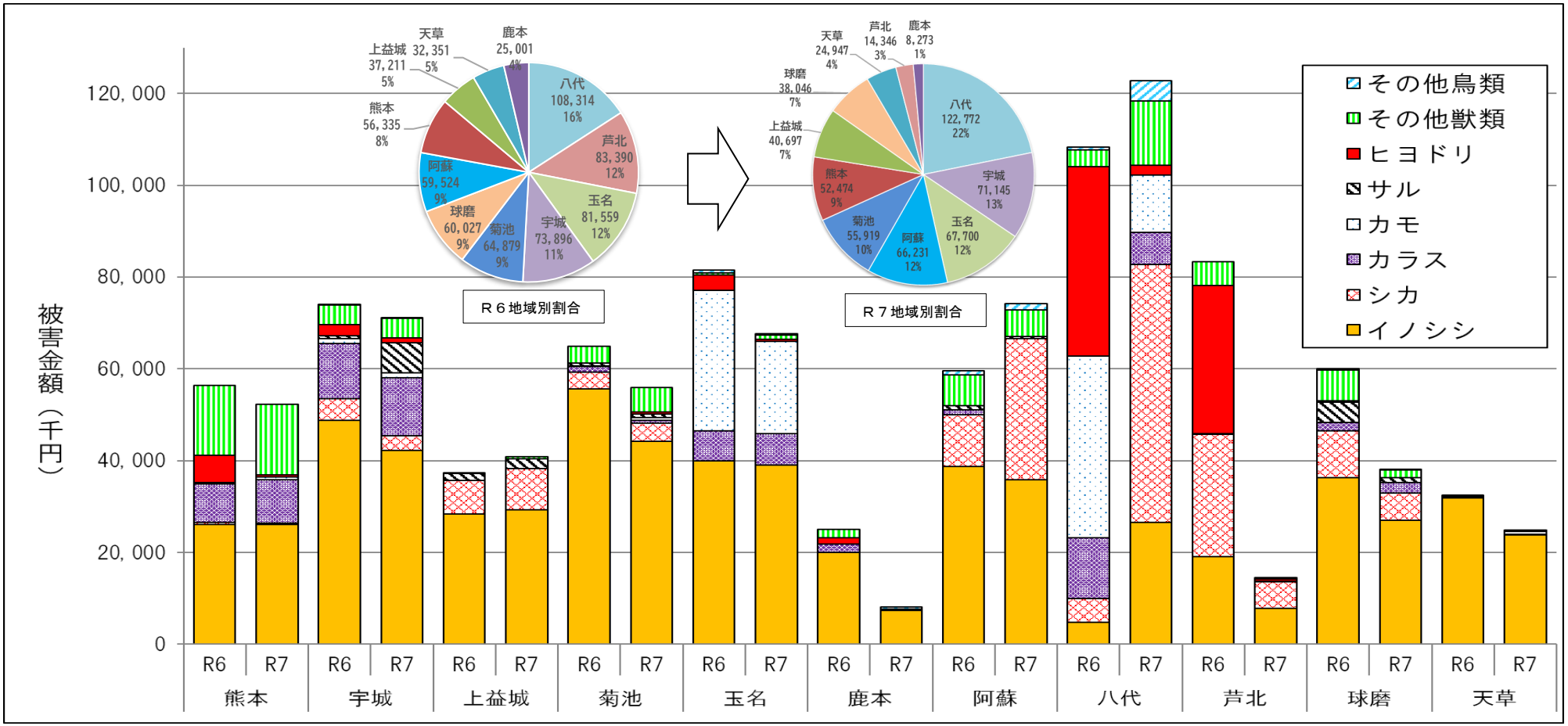

図４　地域別での被害額の推移（令和6年度→令和7年度）